

高瀬中だより

2026年2月5日
No.12



学校教育目標

自ら求めて学ぶ心豊かな生徒の育成

三豊市立高瀬中学校

〒767-0011

三豊市高瀬町下勝間2725番地1

TEL 0875-72-3161

FAX 0875-73-6188

文責 長谷川 忍

人権集会

昨年末、インフルエンザの流行のために延期していた人権集会を本日行いました。1グループ18名（1～3年）に分かれ、生徒がファシリテーター（進行役）となって集会を運営しました。数か所の会場しか見られなかったのですが、自分の考えを自分の言葉で話している皆さんのお姿を見て誇らしく思いました。

校長の話（放送）

皆さん、本日の人権集会「ありのままに多様な自分たちを語り合おうじゃない会」、お疲れさまでした。まずは、この場を支えてくれたファシリテーターの皆さん、そして話し合いのルールを守り、笑顔で「いいね」と語り合える雰囲気を自分たちで作ってくれた皆さんに感謝します。

後半の部の話し合いは、友人関係の内容で非常に複雑で難しい問題でした。皆さんのが自分の思いを言葉にし、仲間の意見に耳を傾けたそのプロセスこそが、信頼関係を築く第一歩です。

この対話を終えた今、改めて私たちの「高中生徒会人権宣言」を心に刻んで欲しいと思います。

私たち高中生は

1. 「心の目」 … いじめや差別を見抜き、それを許さない生徒集団になります。
2. 「温かさ」 … 人の心の痛みのわかる、心温かい生徒集団になります。
3. 「強さ」 … 勇気を出して「友を助ける」、心たくましい生徒集団になります。
4. 「正しさ」 … 正しい自分の意見をもち、実践できる生徒集団になります。
5. 「明るい未来」 … 友だちや自分を深く見つめ、互いに高め合える生徒集団になります。

今日の人権集会で語り合ったことは、この宣言を実践することそのものです。「ありのままの自分たち」を認め合い、勇気をもって行動できる、そんな素晴らしい学校を皆さんで作っていきましょう。

笑顔の日

今日、2月5日は「笑顔の日」です。「ニ(2)コ(5)ニコ」という語呂合わせから生まれたようです。

「笑顔」と聞くと、皆さんはどんなイメージを持ちますか？ 楽しくて自然にこぼれるもの、あるいは誰かに合わせるための愛想笑い……。しかし、私が皆さんに身につけてほしいのは、もっと「意志の強い笑顔」です。

人生には、自分の力ではどうにもならない壁にぶつかる時があります。テストの結果に打ちのめされたり、部活動で手痛い敗北を喫したりすることもあるでしょう。そんな時、下を向いてしまえば、心まで暗闇に飲み込まれてしまいます。だからこそ、あえて「笑って」みてください。それは現実逃避ではありません。「これくらいのこと、私は折れないぞ」という、自分自身への宣言です。口角を上げる。ただそれだけの動作が、脳に「まだ戦える」という信号を送り、再び立ち上がる勇気を生み出します。

また、一人の笑顔には、場の空気を一変させる力があります。誰かがミスをしたとき、チームが沈んでいるとき。そこで不敵に、あるいは温かく笑える人が一人でもいれば、周囲の不安は勇気へと変わります。その笑顔は、もはや優しさではなく「リーダーシップ」そのものなのです。

「笑う門には福来たる」という言葉は、受け身の姿勢を指すのではありません。自ら笑うことで、道を切り拓き、幸運を力強く引き寄せる。そんな強さを、この「笑顔の日」に意識してみてください。



皆さんの凛とした笑顔が、高瀬中学校をよりたくましく変えていくことを信じています。